

今回は、「よくある社員の間違い行動」という小冊子からです。

## 自分なりに忙しいと思いついでいる

「私は忙しい」と思っている人はたくさんいる。しかし一方で、上司や周囲からは、「〇〇さん、そんなに仕事がある（売上を上げている）わけでもないのに、なんであんなに忙しそうにしているだろうね・・・」そう見られている人もいます。むしろ、仕事ができる人に「忙しいですか？」と聞くと「そうでもないですよ。何かありますか？」と平然と答える人がいたりする。その差はいったいなんだろうか？

私には5つの違いがあると思う。

**まず第一に、朝の始まり方が違う。**時間に余裕のある人の出社は早い。始業時間の30分前はザラ。一時間前に出社する人も多い。前日のやり残し仕事の片付け、今日の計画作り、メールへの返信など、こまごましたことはすべて終えて始業時間をむかえる。ギリギリに出社してあたふたと仕事をはじめの人とは、心の余裕がまるで違う。余裕があるからストレスも少ない。当然一日の疲れも少ない。

**2つ目に、段取りの違いだ。**これについては前の再読の「段取りが悪く、バタバタを仕事だと思っている」を思い出して欲しい。

**3つ目は、仕事の平準化をしているかどうかだ。**毎日毎日、今日やることを明日に繰り越さずにやりきっているか？そうしないと、休み前の木・金になって急に忙しくなる。やる気のある時とない時の差が激しい人も、仕事が平準化しない。平準化しないから、週末や月末やメ切日の近くになって、バタバタし始める。そのバタバタを一生懸命に仕事をしている感、として勘違いしてしまう。

**4つ目は、優先順位の付け方。**これは、今後また再読で「優先順位を考えろ！と言われている」という再読で詳しく説明する。

**最後に5つ目は、忙しい状況を改善しようとしていないことだ。**目の前の仕事に追われている人は、それをこなすことに精一杯となり、やり方を改善することに興味がいかない。上司から見てみると、「〇〇さん、この部分はこうやった方がいいんじゃない？」「〇〇さん、これはやらなくていいと思うよ」と思うことはよくあることだ。改善しないから、忙しい現状が永遠に続く。悪循環である。忙しいことと、気ぜわしいことは、全く違う。あなたの忙しさは本物だろうか？それとも、まだまだ改善の余地があるだろうか？

仕事ができる人に「忙しいですか？」と聞くと何と答えますか？

( )

忙しい人とそうでない人の5つの違いは何ですか？

( ) ( )

( ) ( )

( )

カッコの中を埋めてください

あなたの忙しさは( ) だろうか？それとも、まだまだ( ) があるだろうか？